



12  
Dec 2021  
No.797



おごそかに  
巖かに  
涌谷町の現代の金  
金のいぶきを献納

12月号の主な掲載記事

- ☑特集「金のいぶき花咲く」…………… P.2
- ☑令和3年度涌谷町立小学校の  
運動会フォトレポート…………… P.4

— 特 集 —

# 金のいぶき

みちのく涌谷に

花咲く



## コロナ禍で花咲いた 涌谷町の金のいぶき

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、外食産業が特に冷え込んだことで、米の需要が低下し、令和3年度産の主力米「ひとめぼれ」や「だて正夢」などの買い取り価格が2千円から3千円程度下がった9千円台になるといふ稲作には非常に厳しい年となりました。

そういった厳しい市場の情勢にありながら、涌谷町と新みやぎ農業協同組合が5年前から日本初の産金地・涌谷町にふさわしいブランド米として栽培を強化してきた玄米食専用米「金のいぶき」は、昨年度よりも約千円ほど高い約1万6千円という買い取り価格となりました。

外食産業を中心とした白米の需要が減る中で、新型コロナウイルス感染症などの影響で、食に対する健康志向が強まり、ビタミンEやGABA、食物繊維などの現代人に必要な栄養素を多く含みながらも食味が良い「金のいぶき」への需要が高まったことが、買い取り価格上昇の要因として考えられます。

## 現代の金を生み出す 産地としての拡大と安定

令和3年度の涌谷町内での「金のいぶき」の作付けは、令和2年度の12経営体約13・5ヘクタールから、20経営体で約39ヘクタールへと拡大しました。宮城県全体では190ヘクタールに作付けされており、涌谷町は全体の20%を占めます。

収穫量は、7月下旬まで順当だった天候が、8月のお盆あたりに長雨と低温が続いたため、全体平均で約7・8俵となりました。一方で、宮城県の協力も受けている栽培マニユアルが奏功し、天候不順にもかかわらず9俵を収穫したり、二等米が基本の「金のいぶき」で一等米を収穫した生産者も現れました。

令和4年度は、「金のいぶき」への需要の高まりから宮城県全体で300ヘクタールに拡大する計画で、涌谷町としても約80ヘクタールに拡大する予定です。

「涌谷町を『金のいぶき』のゆるがない産地として確立するために、数年後には生産者数・作付け面積を50経営体・120ヘクタールに拡大し、



これまでの取り組みが凝縮された栽培マニュアルを磨き上げ、異常気象でも収量と品質を落とさない安定化を図ってきたい。そのためにも、来年度は、米づくりの基本の『土』に着目して分析し、『金のいぶき』に適した地力のある土壌について迫りたい」と涌谷町農林振興課の藤崎班長は話します。

**コロナ禍の終息を願う  
金のいぶきを東大寺に献納**

「金のいぶき」のブランド化とともに始まった奈良東大寺への献納。新型コロナウイルス感染症の影響で、9月上旬まで開催が危ぶまれましたが、感染者数が減少に転じ、11月3日(水)に執り行うこと

ができました。修学旅行を中心に観光客が戻りつつある東大寺周辺を天平衣装をまとった平城京天平祭東大寺参詣行列の一員として東大寺大仏殿までの約2kmの道中を練り歩き、「金のいぶき」をPR。

奈良時代に、流行する天然痘の終息と国家安寧を願い造立された廬舎那仏に「金のいぶき」を献納し、東大寺の狭川別當をはじめとした皆さまに法要をあげていただくことで、聖武天皇と光明皇后の供養と新型コロナウイルス感染症の完全終息を願いました。

また、「金のいぶき」を栽培した箕岳白山小学校5年生が作ったフラッグが11月中旬まで掲げられ、「金のいぶき」のPRの一翼を担いました。



コロナ禍も  
なんのその

# 小学校の運動会



① 涌谷第一小学校



③



②



⑤



④

新型コロナウイルス感染症の影響によって、今年度も秋の開催となった涌谷町立の小学校の運動会。競技内容や保護者の参観者数の規模を縮小し、感染予防対策をとりながらの運動会となりましたが、児童は秋晴れの突き抜けるような青空のようにさわやかな表情を見せました。



⑥

## 《涌谷第一小学校の運動会》

雨天が心配されたため、1日順延となり、穏やかな秋晴れの下で開催された涌谷第一小学校の運動会。

①涌谷町のシンボル史料館を背に思い切り駆け抜ける②1位でのゴールにはじける笑顔③愛らしくも力一杯に玉を放り投げる④ピンと手をあげ運動会にかける誓いの言葉を堂々と⑤仲間とともに息を合わせてバトンを握りしめ円を描きながら前へ⑥全国大会出場の演奏を披露した涌谷第一小学校マーチングバンド



9



8



月将館小学校

7



11



10

《月将館小学校の運動会》  
 涌谷第一小と笹岳白山小の開催から1週間遅れで開催された月将館小学校の運動会も雲一つない秋晴れの下での開催となりました。

7 仲間たちがつないでできたバトンを手に笑顔のゴール8 集中でキレのあるダンスパフォーマンスに会場全体からアンコールがかかった1・2年生のダンス「紅蓮華」9 激しいコース取りが繰り広げられる第一コーナー10 1位の喜びを浮かべてゴールテープを駆け抜ける11 スピードだけではなくテクニクも求められる障害物競走

《笹岳白山小学校の運動会》  
 通り雨のため一時中断を余儀なくされた笹岳白山小学校の運動会。それでも、雨や強風の影響を感じさせることなく、児童の皆さんは、一生懸命競技に取り組みました。

12 気迫あふれる徒競走のスタート13 笹岳山ろくに響いた1年生の誓いの言葉14 笹岳山を背に力強さを演出する綱引き15 笹岳白山小学校の伝統として全校児童で舞った「笹白よさこい」16 めんこいデカパントをバトン代わりにリレー



笹岳白山小学校

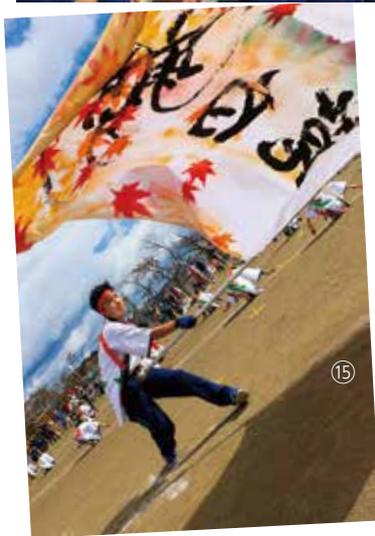
16



13



12



15



14



多年にわたる各分野における功績をたたえて  
宮城県文化の日表彰を受賞されました

11月1日(月)に、仙台市青葉区の東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)で、令和3年文化の日表彰式が挙行され、涌谷町からは3人が多年にわたって各分野で活躍されてきた功績を表彰されました。

このたびの受賞、誠にありがとうございました。



地方自治功労  
すずき ひでまさ  
鈴木 英雅 さん  
(現涌谷町議会議員)



民生安定功労  
あんどう みわこ  
安藤 美和子 さん  
(元民生・児童委員)



消防防災功労  
いさご ひとし  
砂金 均 さん  
(現涌谷町消防団分団長)



これからもお元気で  
満百歳おめでとうございます

10月8日(金)に、目黒アキノさん(3区在住)が満百歳の誕生日を迎えられました。

自宅で満百歳をお祝いするとともに、敬老祝い金を贈呈しました。好き嫌いがなく何でも食べる目黒さん、今日はお祝いにちらし寿司を食べたそうです。普段は得意のお手玉で楽しんでいるとのこと。どうぞこれからもお体に十分気をつけて、ますます長寿でありますようお願いしております。



ペタンクで健康づくり  
涌谷町老人クラブ連合会ペタンク大会

10月6日(水)に、涌谷スタジアムで第29回涌谷町老人連合会ペタンク大会が開催され、町内の老人クラブから18チーム・63人が参加しました。優勝は、黄金愛寿会Bチームで、準優勝に上郡長寿会Aチーム、第3位に短台寿老人クラブBチームという結果でした。

優勝・準優勝チームは、10月20日(水)に富谷市で開催された第25回宮城県シニアスポーツ大会に出場し、予選で強豪チームを下して決勝リーグに進出しました。



## 火の用心 思い出が灰になる前に 涌谷高校書道部が書道で防火啓発

10月22日(金)に、涌谷高等学校で、遠田消防署からの依頼を受けて、涌谷高校書道部の岩淵凧紗さん(3年生)と島瀬望歩さん(2年生)の2人が、秋の火災予防期間に合わせた防火啓発を目的とした標語「火の用心 思い出が灰になる前に」を揮ごうしました。

書かれた標語は、秋の火災予防週間に合わせてイオンスーパーセンター涌谷店内に掲示され、防火啓発に活用されました。



## おうち時間 家族で点検 火の始末 火の用心 月将館小の児童が防災無線で防火啓発

10月28日(木)に、涌谷町役場で、月将館小学校の6年生児童の小野寺萌亜さんと大森さくらさんの2人が、秋の火災予防週間に防災無線で町内に放送する防火啓発メッセージを録音しました。

納得いくまで何度も収録し直した2人は、「普段聞いている防災無線はゆっくりで同じように話そうと思っても、早口になってしまい、聞き取りやすい速さに調整するのが難しかった」と話しました。



## 子育て支援サークル・おひさまスマイル活動報告 青パパイヤを収穫しよう！

10月31日(日)に、佐藤園芸さんのパパイヤ畑で『青パパイヤを収穫しよう！』を開催しました。

佐藤さんから青パパイヤについて話を聞きながら収穫体験をさせていただきました。今の時期しか収穫できない青パパイヤはクセがなく何の料理にも使える上に、酵素パワーや栄養が豊富な万能野菜とのこと。子どもたちは大きな実を目を輝かせながらビニールいっぱいに収穫していました。親子で貴重な体験を楽しむことができました。

### 遠藤 稔 町長コラム

#### 1年を振り返る

アメリカ先住民の言い伝えに「地球は先祖からの譲りものではなく、子孫からの借り物だ」という言葉がある。なるほど、と納得する。

町長に就任して2年6ヵ月余り、先人が築き上げたこの町を、ただ守りきろうとの一念でここまで来た。しかし、アメリカ先住民の言い伝えに倣い、この町を次代に繋いでいかなければ、と考え直すと責任はさらに重くなる。それでもさまざまな方のお話を伺いし、歩み続けるしかない。今年も1年を振り返る師走となった。

#### 《遠藤 稔 町長の公務(10月16日～11月15日)》

- 10月18日(月) 大崎地域広域行政事務組合議会定例会 (大崎市)
- 10月27日(水) 地域医療理解講座 (役場)  
江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会要望活動、鳴瀬川総合開発促進期成同盟会要望活動 (仙台市)
- 11月 4日(木) 宮城県知事・宮城県議会議長に対する要望活動 (仙台市)
- 11月11日(木) 第4回町財政及び病院事業に係る有識者会議 (役場)